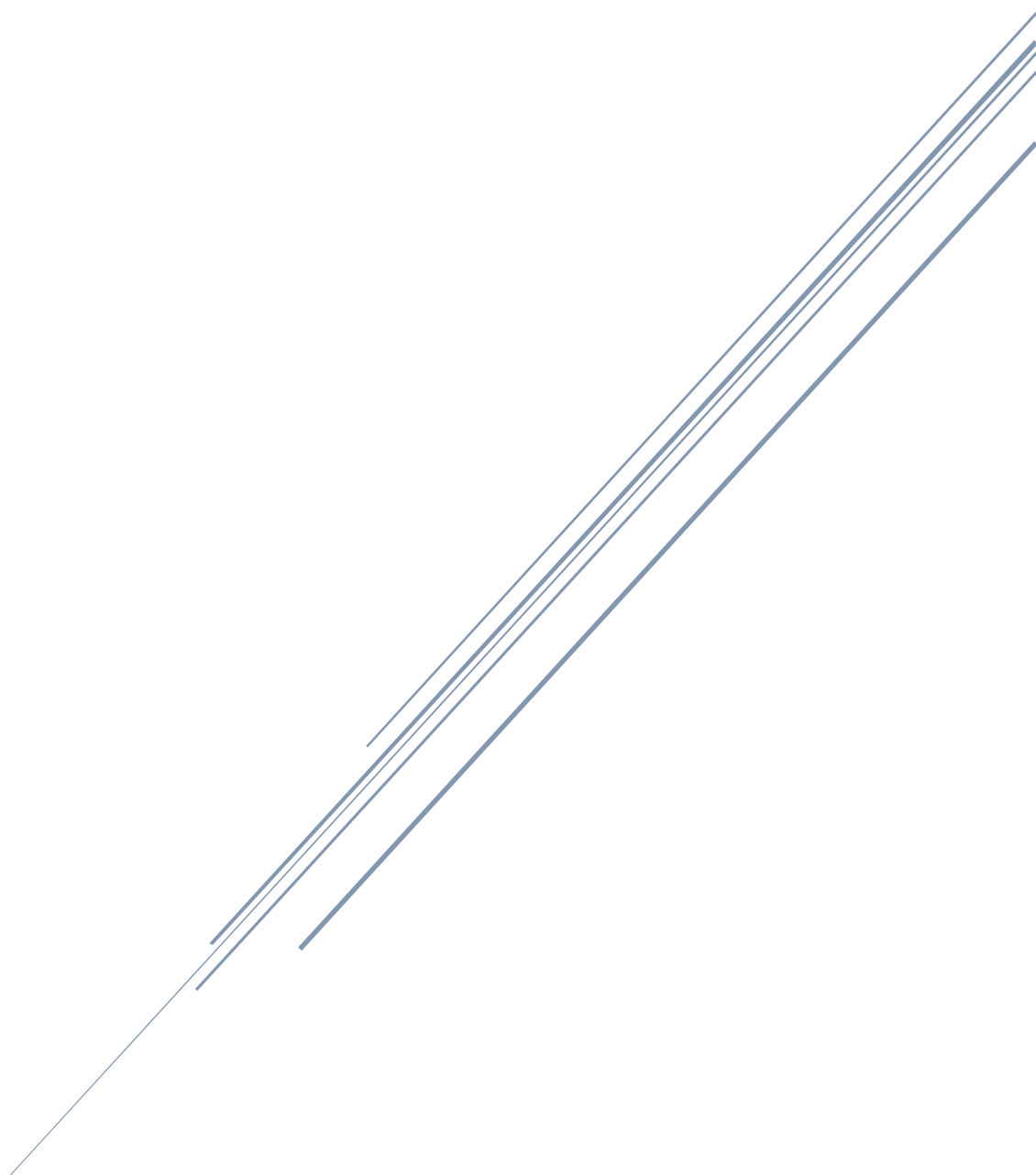


令和5年度（2023年度）

ニセコ町コミュニティ・スクール事業報告書



令和6年3月

ニセコ町コミュニティ・スクール委員会

令和5年度
ニセコ町コミュニティ・スクール事業報告書

も く じ

1	事業の概要	p 2
	（1）事業の目的	
	（2）令和5年度の組織体制	
2	事業の内容	p 3
	（1）各学校・幼児センター学校運営にかかわる基本方針の承認	
	（2）ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 全体会	
	（3）ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 役員会	
	（4）ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 学校単位での活動	
	（5）ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 部会・学校支援ボランティア	
	① 部会：企画部会・広報部会	
	② 学校支援ボランティア	
	（6）各種研修・発表	
	（7）広報活動	
3	令和5年度の成果と課題	p 7
	（1）全体会での振り返りから	
	（2）まとめ	

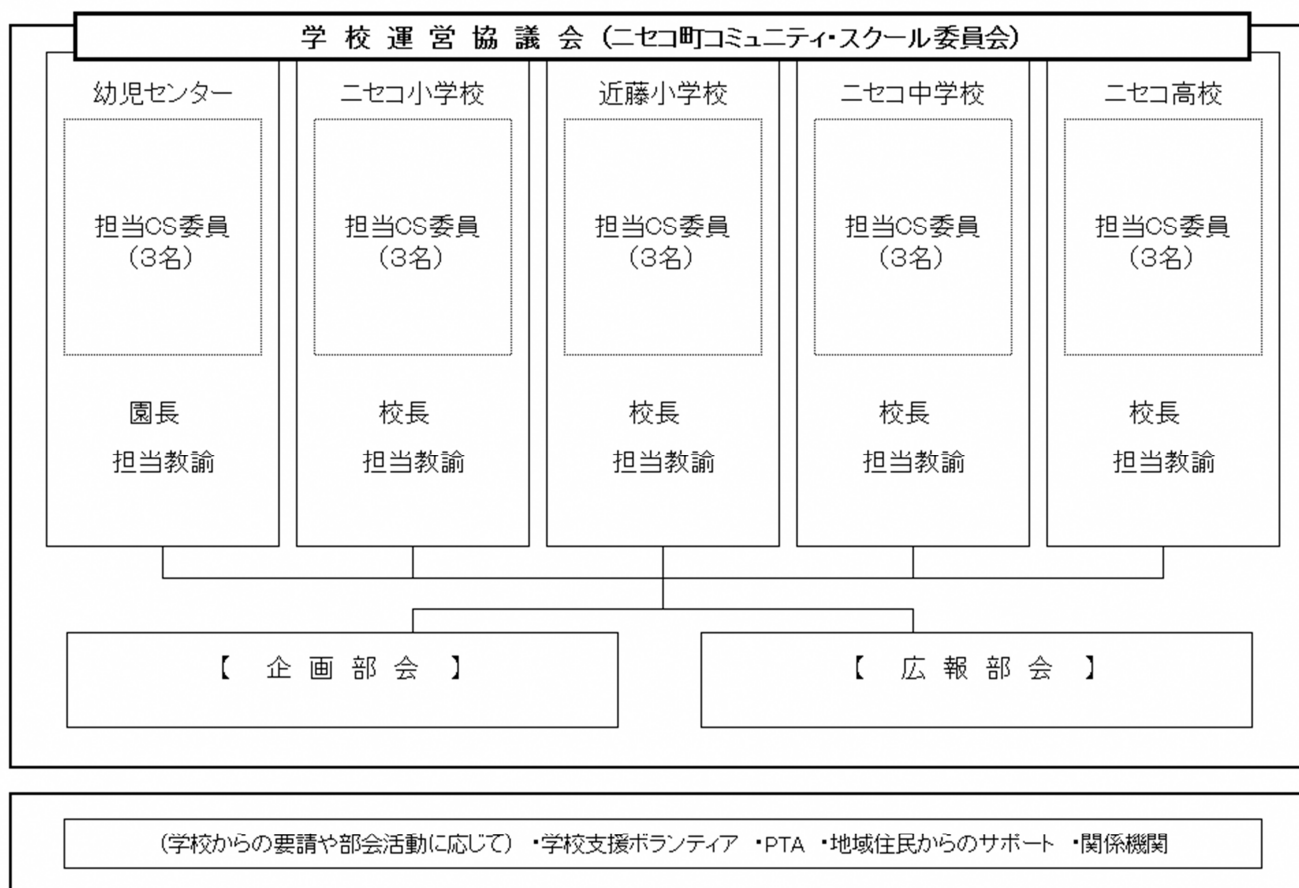
1 事業の概要

(1) 事業の目的

ニセコ町教育委員会では、全ての町立学校（幼児センター・小中高等学校）に学校運営協議会を設置し、子どもたちの課題共有や解決に向けた取組、学校支援活動などをさらに進め、地域資源や人材を積極的に活用したニセコらしいコミュニティ・スクールの取組を進めることを目的とする。また、子どもを育てていく意識の醸成を図るため、部会を設置し、ニセコ町コミュニティ・スクール委員会（学校運営協議会）が主体となって活動を行う。

(2) 令和5年度の組織体制

◎目指す子ども像 「ニセコに誇りを持ち、たくましく生きる人」



2 事業の内容

(1) 各学校・幼児センター学校運営の承認に関わる意見交流会（令和4年度CS委員）

4月26日（火） 18:30～20:00 ニセコ町役場

(2) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会役員会

〈第1回〉 10月12日（木） 18:00～20:00 ニセコ町役場

(3) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会全体会

〈第1回〉 6月28日（水） 18:30～20:00 ニセコ町役場

〈第2回〉 3月 7日（木） 18:30～20:00 ニセコ町役場

(4) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 各学校協議会・学校関係者評価

〈幼児センター〉

6月22日（木） 第1回幼児センター協議会（幼児センター部会）

12月15日（金） 第2回幼児センター協議会（幼児センター部会）

2月22日（木） 学校関係者評価

〈ニセコ小学校〉

2月 8日（木） 学校関係者評価

〈近藤小学校〉

9月13日（水） 第1回近藤小学校協議会（近藤小部会）

2月14日（水） 学校関係者評価

〈ニセコ中学校〉

7月25日（火） 第1回ニセコ中学校協議会（ニセコ中部会）

11月28日（火） 第2回ニセコ中学校協議会（ニセコ中部会）

1月31日（水） 学校関係者評価

〈ニセコ高校〉

10月31日（火） 第1回ニセコ高校協議会（ニセコ高校部会）



(5) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 部会・学校支援ボランティア

①部会活動

〈広報部会①〉 7月 6日(木) 18:30～20:00 ニセコ町役場

〈企画部会①〉 7月12日(水) 18:30～20:00 町民センター

〈広報部会②〉 9月 5日(火) 18:00～20:00 ニセコ町役場

〈企画・アンヌプリ登山〉 9月 2日(土) 8:30～登山開始

※NPO 法人ニセコ未来サポート隊と共催

〈企画・給食試食会〉 10月20日(金) 11:30～12:30 町民センター

※ニセコ町 PTA 連合会と共催

〈広報・ラジオニセコ〉 毎月第2火曜日 16:30～

〈広報・ポスターコンクール〉 スマホ・タブレットポスターコンクール (夏休み/小学生対象)

○アンヌプリ登山



○ポスターコンクール表彰



○給食試食会



②学校支援ボランティア（学校支援ボランティア派遣・地域人材の活用）

6月14日	【幼児センター】	はたらくくるま乗車体験
6月19日	【ニセコ中学校】	浴衣着付け体験（家庭科）
6月28日	【近藤小学校】	国際交流出前授業①
6月30日	【ニセコ小学校】	英語科授業支援 6年生（国際交流員との英語での交流）
7月15日	【ニセコ高校】	「アフタースクールワールドクラス」学校祭出店
8月30日	【近藤小学校】	国際交流出前授業②
10月20日	【ニセコ中学校】	総合的な学習の時間 講話（役場企画環境課）
10月23日	【ニセコ小学校】	英語科授業支援 6年生（国際交流員との英語での交流）
11月22日	【近藤小学校】	国際交流出前授業③
11月27日	【ニセコ中学校】	多言語読み聞かせと国際交流授業 1、3年生
12月 7日	【ニセコ小学校】	インターナショナルリーディングプロジェクト 1～4年生
12月13日	【ニセコ中学校】	総合的な学習の時間 講話（ヒルトンニセコ）
12月21日	【ニセコ中学校】	多言語読み聞かせと国際交流授業 2年生

5月16日から毎週火曜日放課後 【ニセコ高校】 アフタースクールワールドクラス



(6) 各種研修・発表

【研修会の参加】

- 5月27日(土) 後志地区ボランティア研修会(倶知安町)
- 11月14日(火) 放課後NPO こどもまんなかでつなぐ学校と放課後(WEB参加)
- 11月18日(土) ニセコ町PTA 連合会教育講演会(ニセコ町)
- 12月15日(金) 全国コミュニティスクール研究大会 in 鳥取(WEB参加)

【事例発表】

- 8月25日(金) 全国人口減少地域フォーラム(東京都)
- 9月 8日(金) 総務省集落支援研修会(WEB参加)

(7) 広報活動

①ホームページの更新

- ・ニセコ町教育委員会ホームページ内、「コミュニティ・スクールの取組」を随時更新

②ラジオニセコ(広報部会と連携)

- ・「ニセココミュニティ・スクールタイム」出演(月1回)

放送日 毎月第2火曜日 16:30~16:50

③広報ニセコ

- ・暮らしの情報内「CSチャンネル」掲載 (年間4回)

3 令和5年度 成果と課題

(1) 全体会での振り返りから

①幼児センター・各学校から

【幼児センター】

- ・今年度は協議会として年3回集まったことで、委員同士のこと・幼児センターのことをよく知ることができ、良かった。
- ・今年度CS委員の協力で「はたらくるま」の体験試乗会を行うことができた。次年度も委員の協力のもと、大正琴や昔遊びの機会を作っていきたい。
- ・地域のヒーロー（けん玉、リフティングなどが上手）をよんで、園児と交流させることも考えている。

【ニセコ小（北川教諭）】

- ・道徳、教科担任制の授業については参観日で公開し、そのあと協議会と懇親会の場を設定したいと考えている。
- ・外国語教育について、子どもたちが楽しく学んでいることや、英語に親しみがなくても本を読むことで物語の世界に引き込むことができること、マキノとの英語授業の交流が子どもたちの自信になっていることが話題となった。次年度も積極的に取り組んでいきたい。

【近藤小（渋谷校長）】

- ・協議会の持ち方については、できれば年4回もちたいと考える。年度初め、前期終了、後期終了、次年度の方向性の4回あるとより情報を共有できる。
- ・教育ボランティアとして保護者への呼びかけを考えている。まずはバス待ちの子どもに対して読み聞かせなど保護者が得意なこと等を活用して取り組んでいきたい。

【ニセコ中（高井委員）】

- ・今年度はCSを様々な活用してもらった。今後は横のつながりをもっと作っていき、広く応援団を作っていくのが良いのではないかな。そうすることで、点ではなく面で生徒をとらえることができる。
- ・総合的な学習の時間は、CS委員・地域、新しい取り組みをしているニセコ高校と連携して、高校に入る前の「探究の時間」の土台作りができるとよい。

【ニセコ高校（新濱教頭）】

- ・お茶会など、気軽に来てもらって楽しく情報を共有できる場を作りたい。小学生や中学生に対しても楽しい場を作って、高校生からやっていることを伝えていくのが良いと考える。
- ・今年度ルピシアに協力いただき、ニセコ高校の紅茶を作成したので、そのお茶を活用したお茶会の場を設けたい。

②その他（質問・意見）

- ・評価をするにあたり、幼小中高のブレがないか整理し残すべきことは残していった方が良い。また、どのように評価するのか、ということも整理が必要かもしれない。
- ・学校運営方針の承認については4月、5月で良いのかは疑問がある。
→（淵野課長から）運営方針は「承認の場」ではあるが審査すると捉えるのではなく、「みんなで理解して今年度進めていこう」という場としたい。変えた方が良いものがあれば、議論して途中で変えるものがあったとしても良いと考える（今年度、ニセコ高校は途中で作り直した部分がある）

（2）考察とまとめ

- ・今年度は、学校ごとの協議会を開催することとし、より密な学校と委員の交流・情報共有の場を設定することができた。学校の思いを共有する場ができたことで、より学校を応援する気持ちが芽生えたことや、ここで話題となったことが学校運営に良い影響を与えたことなどが報告され、協議会の実施は学校と地域の連携をするうえでの大きな成果と考える。
- ・一方で、どのような形で開催するか、多忙な学校がどのように時間を確保するかは試行錯誤の段階と考える。学校と地域が思いを共有し、学校が目指すことを確認する場として、今後も開催を促していきたい。
- ・各学校から様々な事業で学校支援ボランティアの活用が図られた。今年度は特に外国語教育、国際交流授業の調整に力を入れた。事務局が窓口となることで、各学校の担当教諭の負担を軽減し、学校支援ボランティア、国際交流員との連携を円滑に進めることができたと考える。学校の要請に応じて今後も必要な人材を紹介できるよう努めたい。
- ・感染症対策が終了し、学校と地域・保護者とが様々な面で関係性を「再構築」をする1年となった。話し合いの場、地域の人が学校を訪れる機会も増え、昨年度の反省で「距離ができてしまった」と意見が出ていた学校と地域の距離は、双方の配慮や努力によりかなり近くなったと感じる。振り返りの意見からも、「互いのことをよく知ることができた」、「学校の思いを知ることができ応援したいと感じた」、という声が多数聞かれた。今後も、意見交流・情報共有の場を大切にニセコ町全体のコミュニティ・スクールの活動を推進する体制をとっていきたい。

